



1回(昭2年卒)~  
23回(昭24年卒)  
卒業生2,835名



1回(明43年卒)~  
39回(昭24年卒)  
卒業生3,327名



1回(昭23年卒)~  
68回(平28年卒)  
卒業生29,349名



双鶴同窓会報

発行〒624-0841

京都府舞鶴市引土145  
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会

☎(0773) 75-3131

編集 中西 毅  
責任者 橋本 智  
印刷 オガワ 印刷

▶世界記憶遺産に登録された資料  
五七〇点の一つ「白樺日誌」



# 引き揚げの記録 ユネスコ世界記憶遺産に登録



## 舞鶴引揚記念館 リニューアルオープン

世界記憶遺産の登録決定に先立ち進められていた、舞鶴引揚記念館の改修工事が完了し、リニューアルオープン。引き揚げの史実を伝える貴重な資料を戦争を知らない世代にも分かりやすく理解出来るように展示の内容等を変更しています。同館には、世界記憶遺産の登録を機に、全国から多くの来館者が訪れています。

全国から多くの来館者

【お問い合わせ先】  
舞鶴引揚記念館  
所在地 舞鶴市字平1584  
電話 0773-68-0836



▲世界記憶遺産の登録を祝う懸垂幕

引揚記念館所蔵資料が、昨年10月、「ユネスコ世界記憶遺産」に登録されました。登録されたのは、「舞鶴への生還一九四五〜一九五六」の約一五七〇点。これらの資料は同館に所蔵されている約一五

二千点の中から特に真正性、世界的な重要性、希少性などの高い記録資料を選定し、ユネスコ本部(パリ)に申請されていたものです。同資料は、第二次世界大戦の敗戦にともない日本帝国が崩壊する中、ソ連領に抑留された約六〇万人から約八〇万人といわれる日本人軍人と民間人たちの、筆舌に尽くしがたい抑留生活と日本本国への苦難に満ちた引き揚げの歴史を伝える資料です。



# ご挨拶



双鶴同窓会会長 内藤 行雄

## 同窓会は心のよりどころ

木々の緑が初夏の日差しにまぶしく輝く季節がやってまいりました。

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃は双鶴同窓会の活動について、何かとご支援ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、私こと先日開催されました本部役員会において、南房夫会長様をはじめ、役員の皆様から、南会長の後任として会長職を引き継ぐようご推挙を受け、お引き受けすることになりました。

長い歴史と伝統を誇る双鶴同窓会会長をお受けすることは、もとより浅学非才の私にとつて大変光栄なことではありますが、いまその職の重さを痛感しております。

私事になりますが、皆様の母校は私にとりましても三年間の多感な高校生活を過ごした、若い日の夢を育てていただいた学校であるとともに、昭和三十二年四月から平成九年三月までの十年間、母校の教

員(商業科)として教壇に立ち、教員としても大きく育てていただいた学校でありま

す。さらに、平成十二年四月には教頭、平成十三年四月から十六年三月までの三年間は校長として、西舞鶴高等学校の新たな歴史づくりに携わるなど、私にとつて特別な意味合いを持った学校なのであります。

同窓会との関わりは、高校卒業後は評議員として、また、母校に勤務した教員時代は、校内庶務係として本部總會をはじめ様々な行事のお手伝いをする中で、毎年開催される本部總會の際には、出席される方々の名前を一枚一枚名札に墨書し、總會当日には、その名札を先輩方にお渡しするのが私の役目でした。そのことが後になって、教員生活の様々な場面で会員皆様の心強い激励やご支援をいただくことに繋がったと思っております。

退職後、南会長から同窓会の手伝いをするようにとのお話があり、平成二十二年から副会長として現在に至っております。この間、本部總會は

もとより、京都、阪神、東京支部の總會に出席する機会をいただきました。そこで感じたことは、世代を超えて同じ学び舎で学んだものだけが共有できる和やかな雰囲気と心地よさ、そして深く繋がる同窓生の絆でした。この何ともいえない心地よさこそが、長い歴史と伝統によって築かれた双鶴同窓会の財産である

## 二十八年間お世話になりました

前会長 南 房夫

(西高昭和三十三年第九回卒業)

あれは平成元年の春、先輩で副理事長から「チョットこの鞆を持ってくれ」と言われ、気軽に「ハイ」と持ってしまいました。

副理事長と言う鞆でした。

以来、理事長、副会長、会長と職を重ね二十八年が経ちました。この歳月は阿弥陀籤を辿った結果、成り行きで會長職にまで行き着いたという感じでした。今振り返れば身の程知らずであったとの思いは否めません。

これは阿弥陀様の悪戯と思いい直し、徒に過ぎしたくないと、自分なりに歴史と伝統ある「双鶴」の名に恥じぬよう努めてきたつもりです。ご指導頂いた五代多田卓夫

伺ったことを思い出します。時代の急激な進展とともに、同窓会に対する意識の中に変化があることは否めない事実であります。同窓会はいつの時代も同窓生の「心のよりどころ」として、また、世代を超えた出合いの中で、同窓生の絆を深めるべきとこのことを考えます。今後ともこのことを念頭におき、皆様の声に耳を傾け、双鶴同窓会のさ

會長、六代芦田義通會長、七代金村九二夫會長はいずれも七十五歳で退任されています。

歴代会長の中で役員歴最長、最高齢まで居座ることになつてしまいました。今や後期高齢者三回生、気力・体力共に衰え、抱えた「鞆」も負担に感じる昨今となりました。

二年前から会長交代のお願いをしていましたが、二年延長となり、この度後任に恵まれ退任することになりました。

會長職は八年でしたが、支部活動費の助成やインターネット・ホームページの開設など次代に繋ぐことができ、な

らなる充実発展に努めてまいりたいと考えております。歴代会長に比べ甚だ未熟者であります。本部役員、支部役員の皆様、そしてすべて会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。就任の挨拶とします。

んとか阿弥陀様にも申し訳がたつたのではと自分なりに納得させています。

在任中は歴代校長先生を始め、事務局を担当頂いた先生方、各支部長と役員の皆様、本部役員並びに多くの先輩、後輩の方々また同学年の仲間にご協力を頂きました。支えて頂いた皆さんあればこそその會長でした。

本当にお世話になりました。有難うございました。結びに双鶴同窓会の今後益々のご発展を願い、内藤行雄新会長に変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「運命や成り行きと言え名を止め、今、面はゆく後を託して」



# ご挨拶

舞女・舞中からの伝統(双鶴同窓会)に感謝



校長 長島 雅彦

伊佐津川の流  
れや愛宕山のす  
がしき緑に、初夏を感じる頃と  
なりました。双鶴同窓会の皆様  
におかれましては、益々御健勝  
にて御活躍のもととお慶び申し  
上げます。平素より本校教育活  
動への深い御理解と厚いご支援  
をいただきありがとうございます。心  
より感謝を申し上げます。この  
度、御退任となられた前会長  
南房夫様、前理事長 林田光弘  
様、前副理事長 斉藤友幸様に  
は長きにわたり「西高」を物心  
両面から支えていただきました  
ことに、心より感謝申し上げます。  
す。南様の「西高」での教育を  
酒造りに絶妙に例えられたお言  
葉がとても印象的でございます  
た。「米」は生徒、「水」は地域  
やPTAの力、「杜氏と蔵人」  
は教職員、そして酒の出来映え  
を決める「酵母菌」は舞女・舞  
中からの伝統(双鶴同窓会)で  
あると例えられました。まさに  
理想の学校教育の在り方を示さ  
れた言葉を胸に刻み、我々教職  
員は日々の教育活動にあたらね  
ばと決意しております。

この四月には全日制課程二八  
一名、通信制課程一八名の新入  
生を迎え、新たな年度が始まっ  
ていることを、先ずは皆様に御  
報告いたします。全日制課程は  
かつてのⅠ類・Ⅱ類の制度から  
変更となった普通を超える普通  
科として五年目という区切りの  
年。また、京都北部唯一の自然  
科学系専門学科である理数探究  
科は、開設一年目となり、新  
たな一〇年に向けての出発の年  
になります。現在、生徒数は、  
京都北部では最大規模の一つと  
なる約八七〇名。そして昨年度  
卒業生の輝かしい進路実績や全  
国を舞台に活躍する部活動等、  
ハイレベルな文武両道を実現す  
る京都北部を代表する中核校と  
しての地位を確固たるものとし  
ています。また、通信制課程は  
京都北部唯一の公立通信制とし  
て七〇年近い歴史を有していま  
す。今年度は、一五〇名の生徒  
が、諸種の困難な条件を抱えな  
がらも卒業という栄誉を獲得す  
るために、「あせらず やすま  
ず あきらめず」を基本としな  
がら、週一回のスクーリングと  
自宅でのレポート作成に励んで  
います。



舞女と記された70年以上前の木箱



大江選手 友情のメダルにかかわる品々

の木箱、もう一つは大江季雄選  
手とともにグラウンドで汗を流さ  
れたという 久内武様の御息  
から友情のメダル等に係わる  
品々、これらを本校にてお預か  
りするということになりました。  
た。改めて、我が「西高」は、  
この地において舞女・舞中から  
の伝統(双鶴同窓会)という至  
高の酵母菌を大切にしながら、  
燦然と輝き続けなければならぬ  
学校であると確信いたします。  
結びにあたり、双鶴同窓会の  
御発展と会員の皆様の御健勝と  
御多幸を心より祈念し、御挨拶  
とさせていただきます。

## 双鶴同窓会各支部役員

- 【東京支部】**  
 支部長 増本 治 夫 (昭34高)  
 事務局長 澤田 謙 二 (昭48高)  
 「事務局」〒160-0011  
 神奈川県川崎市宮前区馬絹1364-1-201 (澤田)  
 TEL/FAX 044-863-6978 (自)
- 【京都支部】**  
 支部長 小田 彬 人 (昭27高)  
 事務局長 藤元 浩 幸 (昭60高)  
 「事務局」〒611-0022  
 滋賀県大津市青山8丁目10-15 (藤元)  
 TEL/FAX 077-549-1144 (自)
- 【阪神支部】**  
 支部長 谷村 久兒雄 (昭42高)  
 事務局長 岸本 登 (昭47高)  
 「事務局」〒666-0117  
 兵庫県川西市東畦野3-9-16 (岸本)  
 TEL/FAX 0727-95-0720 (自)
- ◎定時制の会 会長 植村 英 人 (昭27定) 本部・理事  
 ◎通信制の会 会長 岩田 護 (平9通) 本部・理事

## 双鶴同窓会本部役員

- 会 長 内藤 行 雄 (昭41高)  
 副 会 長 戸祭 武 (昭22中)  
 大瀧 隆 信 (昭37高)  
 藤岡 由 美 (昭40高)  
 小西 正 純 (昭45高)  
 米山 隆 一 朗 (昭51高)  
 理 事 長 渡辺 弘 (昭48高)  
 副理事長 柿本 徳 栄 (昭47高)  
 庶務理事 林田 光 弘 (昭40高) 森 宏 昭 (昭56高)  
 増山 寛 (昭44高) 中 西 毅 (昭49高)  
 永山 隆 司 (昭50高) 野村 美 由 紀 (昭55高)  
 土師 千 穂 (昭62高) 竹田 友 子 (昭63高)  
 瀧口 祐 加 (平21高) 荒 谷 琴 路 (平24高)  
 会 計 理 事 西村 和 夫 (昭48高)  
 監 査 田中 俊 樹 (昭36高)  
 齊藤 友 幸 (昭43高)  
 顧 問 長島 雅 彦 校 長  
 土手 敏 通 全日制副校長  
 大志 万 洋 人 通信制副校長  
 竹村 尚 行 (昭47高) 事 務 長  
 金村 九 二 夫 (昭26高) 第 7 代 会 長  
 南 房 夫 (昭32高) 第 8 代 会 長
- 参 与

## 双鶴同窓会会計報告

### 平成27年度一般会計報告書

(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

#### I. 収入の部 5,527,570円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	3,489,506	
入会金	1,164,000	@4,000×291名(全日制277名、通信制14名)
記念誌等売上	13,500	名簿売上金
寄付金	800,000	高校37回卒業生から(代表 布川氏) 300,000円 舞中第5回同期会から寄附 500,000円
雑収入	60,564	普通預金利息 564円 祝儀 60,000円
合計	5,527,570	

#### II. 支出の部 1,845,602円

項目	決算額	摘要
事業費	793,064	総会諸費用、各代会補助
会議費	87,800	会報編集会議、理事会・評議員会会議
支部関係費	64,980	東京・京都支部総会祝儀、旅費
通信交通費	72,970	会議案内用切手・専用HPサーバー等
事務局費	26,788	卒業アルバム代、祝儀他
特別会計へ繰入	800,000	舞中第5回同期会寄附 500,000円 第37回卒業生寄附 300,000円 を特別会計へ振替
雑支出	0	
合計	1,845,602	

#### III. 残高の部 3,681,968円 (次年度へ繰越)

### 平成27年度特別会計報告書

(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

#### I. 収入の部 8,433,853円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	7,632,485	
繰入金	500,000	舞中第5回同期会から寄附
繰入金	300,000	第37回卒業生から寄附
雑収入	1,368	預金利息
合計	8,433,853	

#### II. 支出の部 0円

項目	決算額	摘要
合計	0	

#### III. 残高の部 8,433,853円 (次年度へ繰越)

以上、報告します。

平成28年6月1日

双鶴同窓会会長 南 房 夫  
 “ 理事長 林 田 光 弘  
 “ 会 計 西 村 和 夫

## 平成27年度事業報告

平成27年

4月30日(木) 第1回本部役員会 於 双鶴会館

- (1) 平成27年度双鶴同窓会役員について
- (2) 総会について
- (3) 平成26年度仮決算報告について
- (4) 会報発行の進捗状況について
- (5) 各部会より

6月5日(金) 第2回本部役員会 於 双鶴会館

- (1) 総会について
- (2) 平成26年度決算報告について

6月13日(土) 同窓会報「双鶴」第39号発刊(一般会員向け)

平成27年度理事会・総会開催

於 舞鶴グランドホテル

- (1) 理事会 49名
- (2) 総会 103名
- (3) 記念講演 舞鶴市副市長  
堤 茂氏(高校26回卒業)
- (4) 懇親会 81名

11月8日(日) 双鶴同窓会阪神支部総会開催

南 房夫会長以下4名が出席

於 大阪リバーサイドホテル

平成28年

1月2日(金) 高校37回生卒業30周年記念同窓会

南 房夫会長が出席

於 舞鶴グランドホテル

3月1日(火) 同窓会報「双鶴」第40号発刊(卒業生向け)

## 会計監査報告

- 1 監査実施年月日 平成28年5月25日(水)
- 2 監査実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 3 監査の対象 双鶴同窓会にかかる会計帳簿、収入・支出証拠書類及び預金に関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、保管預金ともに正確に処理されており、適正であったことを報告します。

平成28年6月11日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会  
 会計監査 藤 田 伊 佐 雄 ㊞  
 会計監査 田 中 俊 樹 ㊞

# 卒業！30周年！！

## 第37回卒業生



二〇一六年一月二日、穏やかな天候にも恵まれ、第三七回生（昭和六〇年卒業）の卒業三〇周年記念同窓会を開催させていただきました。

正月三が日にも関わらず、御来賓、恩師の方々に御臨席いただき、総勢一六九名の参加で盛大な同窓会となりました。

会場に訪れるや、途端にそこは三〇年前にタイムスリップをした空間に。自然と各所に和が広がり、なんとも言えない笑顔が溢れていました。

今とは違い、インターネットやスマートフォンもなかった時代に友だちと話す手段は、FACEt。FACEが基本だったあの頃。休み時間やクラブ中、登下校の時間を余すところなく使って、おしゃべりをしたり、時にはけんかをした思い出が鮮明に蘇ってくる、自ずと声のトーンも上がり、笑い声も大きくなり、もはや一八歳当時に戻ったかのようでした。

同窓会は、クラスやクラブ単位での記念撮影のほか、先生によるマンドリンの演奏、サプライズ企画で盛り上がり、あつという間に閉会の時間を迎え、同窓の縁を一層深めることと、近い将来の再会を誓い、卒業三〇周年記念同窓会を終えました。

最後になりましたが、御来賓、恩師の方々をはじめ、当日参加された友、また、都合で参加出来なかった友、すべての皆様とご家族のご健康とご多幸を、また、双鶴同窓会の更なるご発展を心から祈念申し上げます。

第三十七回卒業生  
三十周年記念同窓会実行委員長 布川博康



1組



寄附・目録贈呈



乾杯



4組



3組



2組



7組



6組



5組



10組



9組



8組

# しだれ桜の記念樹に集い 喜寿を祝う

高第十回生



▲「十期の会」喜寿を祝う集い（舞鶴公園のステージ広場にて）平成28年4月11日

昭和三十三年卒業の第十回生「十期の会」（ときのかい）は、卒業五十周年を記念して舞鶴公園に「しだれ桜」を寄贈し、その後桜の成長を見守ってきました。

私たち同期生は太平洋戦争勃発の直前に生まれ、あの戦中・戦後を経て、高度成長からバブル崩壊など・・・次々と変わる社会環境の中を今日まで懸命に駆け抜けて、本年、めでたく喜寿を迎えました。

四月十一日、同期生四十六名が記念植樹した満開の「しだれ桜」の下に集い、半世紀を超える卒業五十八年目、共に歩んだ七十七歳の人生を語り合い、「喜寿」を祝いました。

高校第十回卒業  
代表 村尾幸作



## 東京支部

本年、十一月十二日(土)新宿京王プラザホテルに於いて東京支部総会・懇親会を開催いたします。今回は、来賓を含め一〇〇余名のご出席を頂き盛大に催すことが出来ました。

今回も幹事をはじめ東京支部会員の皆様にご協力を賜り、ご出席される会員の皆様に喜んでいただける企画を計画しております。東京支部は、静岡県から北海道までの地域に在住の会員約一三〇〇名に案内状を発送しておりますが、そのうち出欠の回答を頂ける方は二〇%、また、ご出席いただける方は一〇%前後であります。毎回、出席率を高める工夫をしているものの、十分な成果が出ていないのが現状であります。当支部が二年に一度発行しております会報誌「いわし雲」には、毎回、多々見舞鶴市長をはじめ地元舞鶴からの情報を掲載し大好評を頂きました。今回も、若手幹事の感性を生かしながら良い情報を発信出来るように準備を進めております。また、舞鶴市に關

わる東京でのイベントには、東京支部会員をはじめ、東舞鶴高校同窓支部の皆さまにも呼びかけをし、全面的に協力をさせて頂いております。遠く離れておいても、生まれ育った舞鶴はいつまでも懐かしく思い出深いものであります。故郷を愛し、また参加して「良かった」と記憶に残る同窓会を目指し、先輩・後輩の繋がりを大切に今後とも運営して参ります。

(事務局長 澤田謙二)

## 阪神支部

阪神支部は、昨年十一月八日に第二十一回定時総会をJ R環状線桜ノ宮駅近くの「大阪リバーサイドホテル」で開催いたしました。

総会は百十名の参加者があり、母校、本部、各支部からご来賓の臨席を賜り、長島雅彦校長先生から母校西高の近況の説明を受け懐かしさを感じました。

又、記念講演として舞鶴引揚記念館館長の山下美晴様(昭五十六年卒)から「海外引揚七十周年」舞鶴から世界へつなぐ記憶」のお話を聞き、十三年間六十六万人の引揚者を迎え入れた舞鶴市民の心づくしのおもてなしに感動いたしました。

好評であるお土産「舞鶴のかま



ぼこ」も用意し、舞鶴名物の物産展も開催しました。

尚、この総会で理事の改選も行われ、福田徹士支部長（昭三十三年卒）から谷村久兒雄支部長（昭四十二年卒）に引き継がれ、新たに事務局を設置しました。

双鶴同窓会阪神支部は昭和五十年に結成されました。昭和三十年代、阪神地区の同窓生は舞中・舞女それぞれ私的懇親会は開いていましたが公式には京都支部総会に出席していません。昭和四十年代、阪神地区の私的懇親会には徐々に多数の同窓生が参加するようになりました。

## 京都支部

（支部長 谷村久兒雄）

母校、双鶴本部、東京、阪神支部の皆様には日頃、大変お世話になり、感謝致します。

京都支部は双鶴同窓会組織のなかつた東海三県、北陸三県の同窓生と共に同窓の縁を築きみたく、数年前から六県の同窓生によりかけ支部だよりの「洛風」を全員に送付し、多数のご参加も得ています。

又、今年は支部総会開催の年であり、七月三十一日（日）京都駅ビルのホテルグランヴィア京都三階源氏の間（西）にて一〇〇〇〜一四〇〇〇の予定で支部総会を開く予定です。

多くの方々のご参加を期待しています。楽しくやりましょう。近頃の京の話題の第一は大宮七条近くの梅小路に四月二十九日（祭日）にランドオープンしました。「京都鉄道博物館」かと思えます。

当所は以前からJRの梅小路機関車館として永年鉄道ファン等に親しまれてきましたが、新たにスケールの大きな鉄道博物館としてランドオープンいたしました。

展示車両としては、明治の北海道開発に活躍したという、義経号からJR西日本開発の五〇系新幹線まで、皇室お召し車輛等五〇余輛が大阪交通博物館を始め各地から陸路、海路を通り梅小路に搬入されました。

鉄道ファンを始め大変見ごたえのある展示のようです。ご一見をおすすめします。

当支部は昭和十五年（一九四〇年、紀元二六〇〇年）舞中同窓会京都支部として開設され、途中、戦後の学制改革等をへて双鶴京都支部として再発足し、七十六年の永く輝かしい歴史があります。現会員の私共としては益々々の発展を願うものです。

（支部長 小田杉人）

## 定時制の会

今年も定時制同窓会行事等に動きは有りませんでした。

今年中には、第六回総会を開催する予定ですが、諸般の事情で成り行きに任せます。

今年度も自然界の人為的事故・気象異変による事故等、特に熊本地震の様な前震、本震と

いう想定外の突発自然事故等に対しての対処等、或いは今後南海トラフも原子力発電事故も想定に入れたものを考えて、明日の安全・安心を心して行動したいものです。

（定時制の会 植村英人）

## 通信制の会

新しい年度を迎えて、通信制では、十八名の新入生が入学されました。

自ら進路の目標を目指し、面接授業、自学自習と生徒会活動、クラブ活動など、一生懸命に取り組み通信制課程を卒業していただきたい。多くの同窓生が応援しています。

三月一日の卒業式には十三名の生徒が高校を卒業されました。ますます少子高齢化社会に向け、たくましく成長される過程を一段一段、積み重ねて下さい。未来を担う卒業生の皆さんに期待をしています。

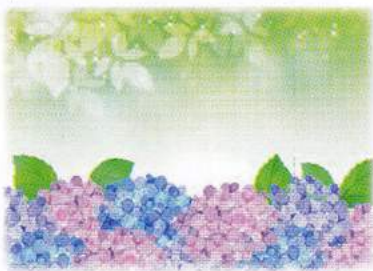
全体の卒業式（全日制・通信制）の後、改めて通信制の教室において、校長先生から卒業証書授与並びに伝達表彰が行われました。

双鶴同窓会通信制の会では、二年に一度同窓会を開催しています。一昨年の八月二十四日に舞鶴グランドホテルにて、双鶴同窓会長様はじめ、校長先生、

副校長先生、恩師の先生方の御出席を賜り、同窓会（総会・懇親会）を行いました。始めに事業報告や会計報告や会則の改正など議案が承認され、総会後の懇親会では、過ぎ去った学生の頃を懐かしみ、菅沼先生のピアノ演奏に合わせ、全員で合唱したり、元気で語り合える幸せを大切にしたり、懐旧の情に包まれます。御案内させていただきました。今年も通信制同窓会が開催されます。御案内させていただきますので、ご来賓の方や恩師の先生方、同窓生の皆さんお誘い合わせ、多数のご出席をいただき、賑やかな同窓会になりますようお願い致します。

今後とも双鶴同窓会通信制の会の活動になお一層のご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（通信制の会 岩田護）



# 頑張ってます部活動

平成27年度

## 全国大会出場

### 水泳部

- ◎第83回全国高等学校総合体育大会水泳競技大会  
(8/17(月) 京都府 京都アクアリーナ)  
越後 智行 (3-5) 男子200m個人メドレー  
男子100m平泳ぎ 3年連続の出場

### 囲碁将棋部

- ◎第23回全国高等学校文化連盟将棋新人大会  
(1/28(木) ~ 30(土) 熊本県 熊本県阿蘇市)  
女子個人戦 梅原 爽加 (2-5) 第24位 予選突破 (4勝1負)  
古閑 美紀 (2-6) 第33位 予選敗退 (3勝2負)
- ◎第28回全国高等学校将棋竜王戦および新人戦  
(6/14(日) 京都府 京都外大西高等学校)  
女子個人戦 梅原 爽加 (2-5) 準優勝  
古閑 美紀 (2-6) 第3位

## 近畿大会出場

### ソフトテニス部

- ◎近畿高等学校ソフトテニス選手権大会  
(7/20(日) 和歌山県 和歌山県白浜県営日置テニスコート)
- 男子個人戦  
牛尾 海 (3-4)・上村尚也 (3-5) ペア  
1回戦 牛尾・上村 4-0 高木・平井 (高島・滋野)  
2回戦 牛尾・上村 1-4 米吉・梅原 (高田商業・奈良)
- 男子団体戦  
1回戦 西舞鶴 2-0 岸和田 (大阪)  
2回戦 西舞鶴 2-0 立命館守山 (滋賀)  
3回戦 西舞鶴 2-1 大塚 (大阪) ベスト8
- 女子個人戦  
田中真未 (3-4)・本条真由 (3-6) ペア  
1回戦 田中・本条 4-2 廣瀬・向井 (水口・滋賀)  
2回戦 田中・本条 4-2 河島・佐藤 (大冠・大阪)  
3回戦 田中・本条 3-4 山本・山口 (和歌山信愛・和歌山)
- 女子団体戦 ベスト32  
1回戦 西舞鶴 2-1 八幡商業 (滋賀)  
2回戦 西舞鶴 1-2 生野 (大阪) ベスト32

### 水泳部

- ◎第69回近畿高等学校選手権水泳競技大会  
(7/23(木) ~ 25(土) 兵庫県 神戸市ポートアイランドスポーツセンター)
- 越後 智行 (3-5) 男子200m個人メドレー

### 陸上競技部

- ◎第48回近畿高等学校ユース陸上競技対選手権大会  
(9/21(月) ~ 23(水) 兵庫県 神戸ユニバース記念競技場)
- 2年男子400m 佐古田 走 (2-6)
- 1年男子走幅跳 松下 修也 (1-4)
- 1年女子走幅跳 岸口 輝美 (1-6) 第6位 5m25

### バドミントン部

- ◎第62回近畿高等学校バドミントン選手権大会  
(11/13(金) ~ 15(日) 和歌山県 和歌山県立体育館)
- 男子ダブルス  
小谷 翼 (2-2)・増田 智 (2-8) ペア  
1回戦 増田・小谷 2-0 東浦・蒸野 (新宮・和歌山)  
2回戦 増田・小谷 2-0 江口・山道 (神戸村野工業・兵庫)  
3回戦 増田・小谷 2-0 岸部・山本 (耐久・和歌山)  
4回戦 増田・小谷 1-2 川瀬・名葉 (比叡山・滋賀) ベスト8
- 松岡 亮 (2-1)・松岡 優 (2-2) ペア  
1回戦 松岡・松岡 2-0 吉川・藤 (新宮・和歌山)  
2回戦 松岡・松岡 0-2 高瀬・高橋 (東大阪大柏原・大阪)
- 山根尚大 (2-2)・大月俊樹 (1-5) ペア  
1回戦 山崎・大月 2-0 安部・古川 (高田商業・奈良)  
2回戦 山根・大月 0-2 藤原・三宅 (比叡山・滋賀)
- 男子シングルス  
増田 智 (2-8)  
1回戦 増田 2-0 古賀 (河瀬・滋賀)  
2回戦 増田 2-1 門脇 (神戸村野工業・兵庫)  
3回戦 増田 0-2 藤原 (比叡山・滋賀) ベスト16
- 小谷 翼 (2-2)  
1回戦 小谷 0-2 片山 (彦根総合・滋賀)
- 大月俊樹 (1-5)  
1回戦 大月 2-0 福本 (海南・和歌山)  
2回戦 大月 0-2 友金 (神戸村野工業・兵庫)
- 松岡 亮 (2-1)  
1回戦 松岡 0-2 西林 (添上・奈良)
- 女子ダブルス  
田村優歩 (2-7)・五戸優衣 (2-4) ペア  
1回戦 田村・五戸 2-0 杉山・内匠 (那賀・和歌山)  
2回戦 田村・五戸 0-2 河野・山口 (四条畷・大阪)

### 囲碁将棋部

- ◎第35回近畿高等学校総合文化祭将棋部門  
(11/14(土) ~ 15(日) 鳥取県 鳥取県米子市)
- 女子個人戦 梅原爽加 (2-5) 優勝  
古閑美紀 (2-6) 第3位







# 卒業生の進路状況

同窓会員の皆様には、平素より生徒の進路状況にお心配りをいただき、ありがとうございます。昨年度も多くの生徒たちが最後まで粘り、進路実現を果たしました。

就職では10名が学校紹介で民間企業に就職しました。地元企業様からの支援を頂いていることに、本当に感謝いたします。また、公務員では、舞鶴市役所、海上保安学校、京都府警察などに延べ13名が合格しました。本校では2年生後半から、公務員・就職それぞれの対策講座を実施しています。ハローワークや専門学校から講師を招き、お話を伺う機会を設け、他の生徒よりも一足先に社会人になるという覚悟を持つよう指導しています。就職者数は多くありませんが、今後も会員の皆様のお力添えをいただきますようお願いいたします。

また、卒業を機にほとんどの生徒が舞鶴を離れてしましますが、将来生まれ故郷へ戻り、地域の活性化を担う人材の育成が必要であると感じています。そのため人生の土台を作る高校時代には、社会と関わろうとする姿勢を養っていく指導が大切であると思います。



## 母校Report

進学では、国公立大学に延べ52名が合格しました。この国公立大学の合格者のうち、88・5%の生徒が3年間部活動(週4回以上の活動)を続け、進路実現を果たしました。早くから始めをつけて学習に取り組むとともに、休み時間や通学時間などを上手に活用している様子が多く見られました。大阪大学や神戸大学などの難関大学にも合格者が5名出ています。

進学 242名			就職 19名					
	男	女	計	舞鶴市	府内	府外	公務員	計
大学	98	81	179	3	0	0	4	7
短大	3	19	22	6	1	0	5	12
専門	8	33	41					

進路指導部長 藤村暢彦

### 京都府立西舞鶴高等学校 双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在任の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
  - 1. 会員 (イ) 舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生  
(ロ) 舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生  
(ハ) 西舞鶴高等学校卒業生  
(ニ) 以上の学校に在学したもので入会を希望する者
  - 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会の目標達成のため委員会をおくことができる。委員長には副会長の一人を充てる。
- 第6条 委員会および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
  - 1. 会長 会員の中より総会で選出する。
  - 2. 副会長 理事の中より若干名を選出する。
  - 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
  - 4. 庶務理事・会計理事 学校より推薦された若干名および評議員より若干名を会長が委嘱する。
  - 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
  - 6. 評議員 各学年において互選により適当数を選出する。
  - 7. 監査 評議員の中から2名選出する。役員の任務は次の通りとする。
- 第8条
  - 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
  - 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
  - 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
  - 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
  - 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
  - 6. 評議員は総会で総会附議事項を審議する。
  - 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員の任期は2ケ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。  
顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。  
参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
  - 1. 会員名簿および会報の発行
  - 2. 会員の慶弔および慰問
  - 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。総会は理事、監査、評議員で構成する。
- 第15条 会員は転居等の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
  - ①改定：第14条末尾の「部会」を毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)
  - ②改定：第5条、第6条、第7条、第8条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日)
  - ③改定：第7条4項を改定する。(平成28年6月11日)



## ご覧ください

### 双鶴同窓会のホームページ

#### — 活動報告や催しの紹介など —

双鶴同窓会のホームページでは、会員相互の親睦を図るため、同窓会の報告や会員の活動報告、催しの紹介、舞鶴に関する情報などを掲載しています。

懐かしい笑顔に出会えるはず。ぜひ、ご覧ください。

#### 双鶴同窓会ホームページ

<http://www.soukaku.com/>

#### 寄稿のお願い

同窓会報に原稿をお寄せください。「同期会などの様子」「同窓会員さんの御活躍の様子」など文章や写真でお寄せください。

西舞鶴高等学校双鶴同窓会「会報編集係」までよろしくお願ひします。

#### 編集後記

双鶴同窓会報40号の発行にあたり、会長様、校長先生をはじめ、各支部長の皆さまにご協力いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。今回、校長先生から紹介のありました、故久内武氏は舞鶴の出身で円盤投げの選手でありましたが、東京師範学校の在学中、棒高跳びのトレーニングのため大江季雄選手を指導されたほか、後に東京五輪の強化コーチを務められるなど、日本陸上界の発展に尽力されたこと。また、西舞鶴高校の前身の一つである舞鶴高等女学校と京都府の教育担当部署との間荷物を運んだ木箱を拝見することもできました。

会報の編集を通じて母校の歴史に触れることができましたことに感謝しております。ありがとうございました。

編集委員 (昭和五十九年卒業)

大槻成雄 橋本 智 浜田真義